

資料編

1

八王子市の学園都市づくりのあゆみ

昭和34年（1959年）

「首都圏の既成市街地における工場等の制限に関する法律」制定

昭和38年（1963年）

最初の大学として工学院大学が進出

昭和39年（1964年）～昭和53年（1978年）

16校の大学等が進出

昭和54年（1979年）

基本構想の都市像の1つに「歴史と文化を創造する学園都市」を掲げ、以後、市の基本構想・基本計画で学園都市づくりを施策として位置づける

昭和54年（1979年）～平成4年（1992年）

6校の大学等が進出、國學院大學が移転

平成9年（1997年）

八王子市学園都市センター開館

平成15年（2003年）

学園都市づくりを推進する所管として市民活動推進部に学園都市文化課を設置

平成16年（2004年）

八王子学園都市大学（いちよう塾）開学

平成16年（2004年）

ヤマザキ動物看護大学が進出、戸板女子短期大学が移転

平成18年（2006年）

デジタルハリウッド大学が進出（内閣府「情報産業人材育成特区」認定）

平成19年（2007年）

共立女子大学移転

平成21年（2009年）

大学コンソーシアム八王子設立

平成27年（2015年）～平成29年（2017年）

12校の大学等と「包括連携協定」を締結

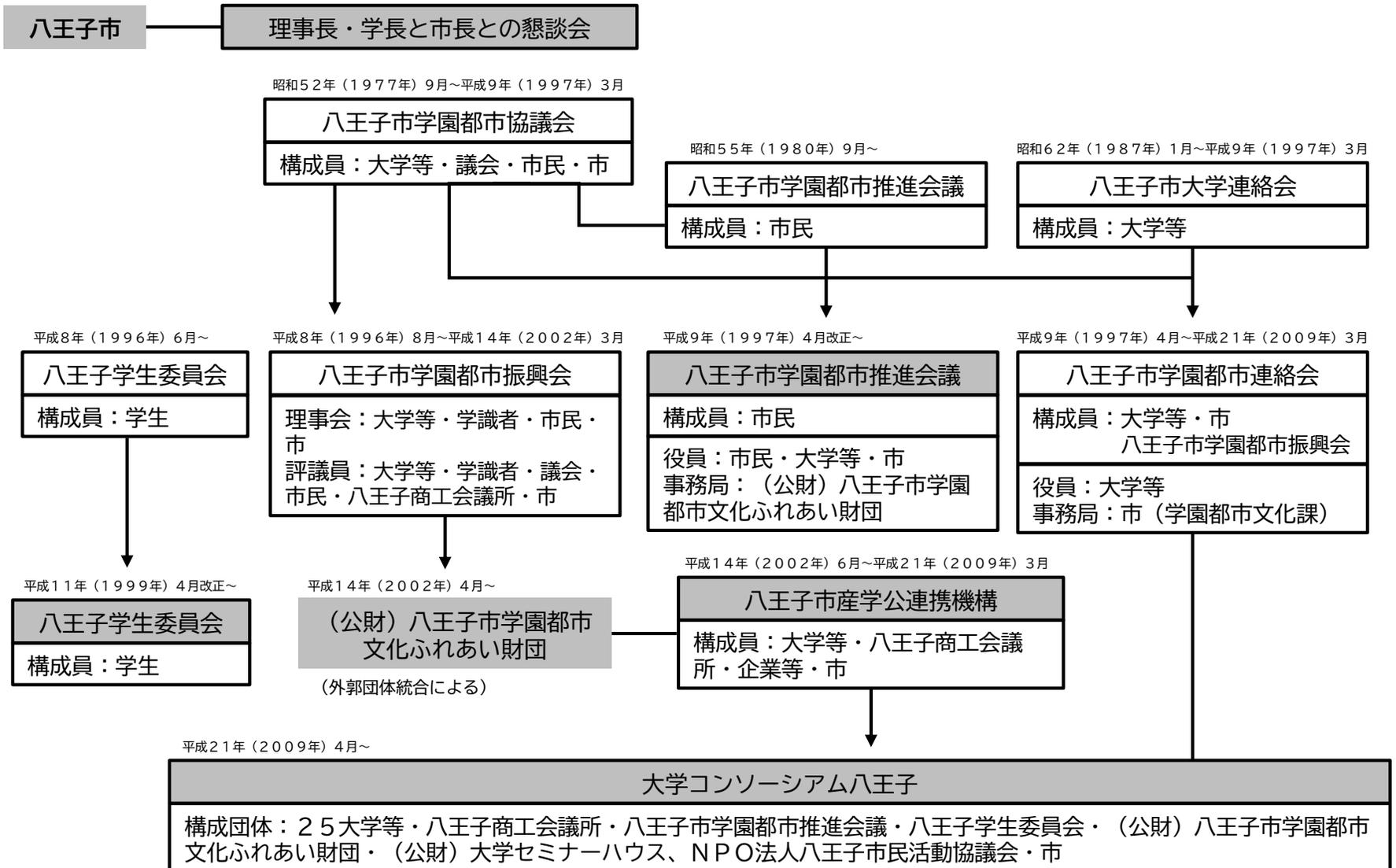
平成29年（2017年）

「はちおうじ学園都市ビジョン」策定

令和6年（2024年）

「第2期はちおうじ学園都市ビジョン」策定

(1) 学園都市づくりを支える市民・経済団体などの組織の変遷



(2) 八王子市学園都市センター

学園都市づくりの拠点施設として、市民と大学等との幅広い交流や文化活動の機会と場を提供するとともに、広く一般の方々の文化活動にもご利用いただくために平成9年（1997年）に開設しました。

本市の学園都市づくりを支える組織である、大学コンソーシアム八王子、八王子市学園都市推進会議及び八王子学生委員会の活動拠点として利用されているほか、八王子学園都市大学のメインキャンパスとなっています。



八王子スクエアビル11階・12階に設置

(3) 八王子学園都市大学(愛称「いちよう塾」)

地域の大学等と連携を図り、大学等の高度で専門的な学習機会を継続的に提供することにより、誰もが自由に学べる機会を確保し、市民の生涯学習に貢献することを目指し、平成16年（2004年）9月に開学した、市民大学です。（学校教育法に定める大学ではありません。）

ア 対象

原則18才以上で学習意欲がある方なら誰でも受講可能

イ 講座内容

正規科目講座：大学等のキャンパスで正規の学生とともに受講する講座

一般講座：大学等及び協力機関からいちよう塾のために企画提供される講座（主な会場は八王子市学園都市センター）

公開講座：無料で受講可能な、単発で開講される講座

だれもが自由に学べる開かれた学び舎
八王子学園都市大学 いちよう塾
令和6年度前期(4~8月)
開講講座
受講生募集

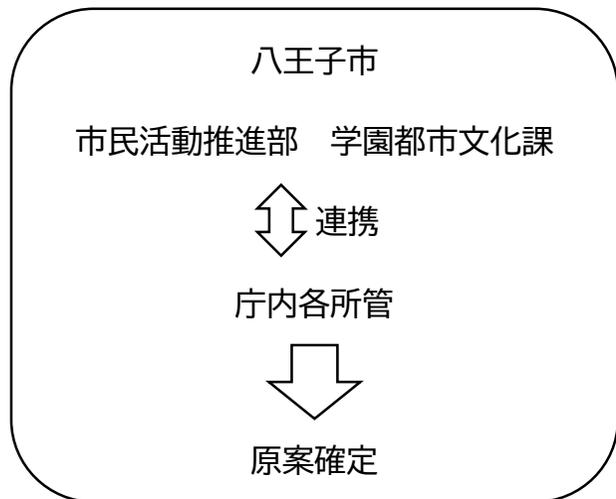
工学院大学
明星大学
東京工業高等専門学校
帝京大学
帝京大学短期大学
東京造形大学
東京純心大学
杏林大学
多摩美術大学
創価大学
創価女子短期大学
東京薬科大学
拓殖大学
中央大学
日本文化大学
法政大学
東京工科大学
東京都立大学
山野美容芸術短期大学
ヤマザキ動物専門学校
東京家政学院大学
サレジオ工業高等専門学校
デジタルハリウッド大学
桜美林大学
多摩大学

問合せ・資料請求
八王子市学園都市大学事務局
(八王子市学園都市センター内)
〒192-0083 八王子市池袋町9-1
八王子市学生センター11F
TEL. 042-648-5621
<https://webmy-class.jp/chokei/iep-webopp/ieip/TopPage.do>

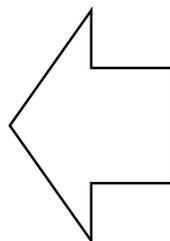
年間で約300講座を開講。開講から20年で13万人以上が受講

2

策定の主な経過



大学等や市民の意向



市民参加

- <審議会等>
第2期はちおうじ学園都市ビジョン検討会
- <アンケート調査対象>
- 大学等（大学コンソーシアム八王子加盟校25校）
 - 学生（市内在住・在学で大学等に通う学生）
 - 小学校（市立70校※）・中学校（市立38校※）
・高等学校（市内立地19校）
- ※義務教育学校の前期・後期課程を含めた数
- 企業（市内に本社または事業所を有する事業者）
- <パブリックコメント>
素案に対するパブリックコメント手続き
（令和6年（2024年）4月15日～5月15日
提出者4名）

（1）第2期はちおうじ学園都市ビジョン検討会

ア 会議などの開催経過

	日時	内容
第1回	令和5年（2023年）4月25日（火）	（1）「第2期はちおうじ学園都市ビジョン」策定概要 （2）アンケート調査 （3）表紙デザインの公募
第2回	〃 7月28日（金）	（1）施策の体系（案） （2）骨子案（素案たたき台）
第3回	〃 9月12日（火）	第2期はちおうじ学園都市ビジョン（素案）

イ 検討会 参加者名簿

選出区分	氏名（敬称略）	所属等（令和5年（2023年）9月時点）
学識経験者 （座長）	古本 泰之	杏林大学 外国語学部 教授 地域交流推進室 室長
大学等関係者 （副座長）	杉原 明	工学院大学 理事・総合企画部長
学識経験者	熊澤 義之	東京薬科大学 生命科学部 教授
大学等関係者	武地 紫	中央大学 学事部学事・社会連携課 課長
大学等関係者	豊嶋 信一	東京工科大学 八王子キャンパス学務部 部長
大学等関係者	河井 晋平	東京都立大学 管理部学長室 学長室長
団体等推薦	古瀬 智之	八王子市学園都市推進会議 理事
団体等推薦	小野 桂一	八王子商工会議所 中小企業相談所 所長
団体等推薦	石谷 結依	八王子学生委員会 委員長
団体等推薦	木村 美紀子	（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課
市民代表	新 達也	八王子学園都市大学評議会 評議員
市民代表	有田 進治	八王子学園都市大学評議会 評議員
市民代表	高橋 今日子	南大沢中学校区 地域づくり推進会議 参加者

(2) 第2期はちおうじ学園都市ビジョンアンケート調査

ア 調査の目的

本調査は、第2期はちおうじ学園都市ビジョンの策定に当たり、市内の大学等、大学生、小学校・中学校・高等学校、企業の実態やニーズを把握し、ビジョン策定に必要な基礎資料とすることを目的として実施しました。

イ 調査期間

令和5年(2023年)5月1日～6月30日

ウ 調査の対象・調査の方法・調査票の回収状況

対象	調査の方法	調査票の回収状況
大学等 (大学コンソーシアム八王子加盟校25校)	大学コンソーシアム八王子事務局を通じてメールで調査票のデータを配付し、回収	配付数24票、回収数23票、回収率95.8%
学生 (市内在住・在学で大学等に通う学生)	大学等を通じたメール及び市広報SNSで周知し、Webアンケートで回収	回収数682票
小学校 (市立70校 ※義務教育学校前期課程を含む)	メールで調査票のデータを配付し、回収	配布数70票、回収数50票、回収率71.4%
中学校 (市立38校 ※義務教育学校後期課程を含む)	〃	配付数38票、回収数28票、回収率73.7%
高等学校(市内立地19校)	〃	配付数19票、回収数13票、回収率68.4%
企業 (市内に本社または事業所を有する事業者)	八王子商工会議所及び八王子市産業振興部産業振興推進課を通じてメールで周知し、Webアンケートで回収	回収数98票

3

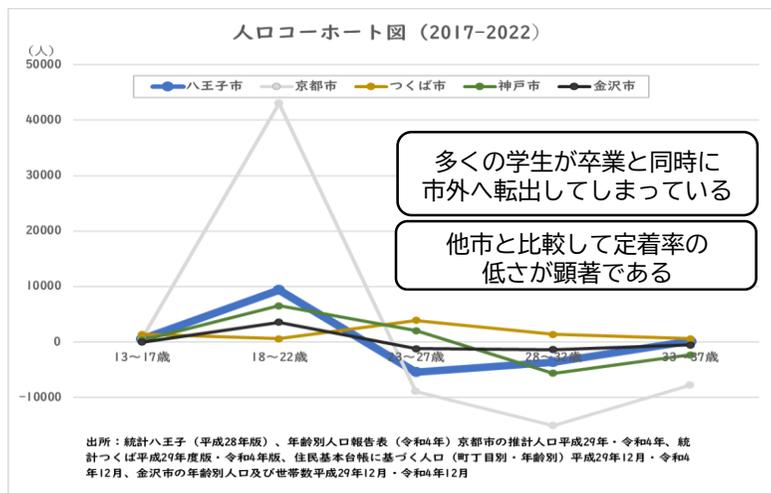
共同研究

学園都市八王子の学生定住の現状分析と、新たな地域交流の提案
～学生と地域の豊かな関係性を目指して～

本ビジョンの策定にあたり、制度経済学の視点からまちづくりを研究する帝京大学経済学部寺川ゼミナールと「八王子市における学生定住の検討」をテーマとして共同研究を実施しました。

ここでは、その概要を紹介します。

(1) 現状の分析と考察



若年転入人口獲得の機会を活かせず、定住に結びつけられていない

◎なぜ定住に結びつかない？

八王子市学生アンケート
(平成27年度・令和5年度実施)

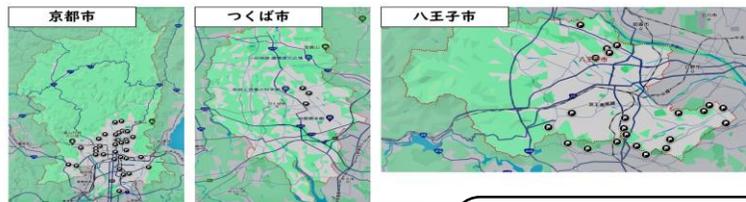
○八王子市に住みたくない理由

- ・八王子市に移り住む理由が特にない
- ・八王子に愛着がないから

という回答が **約7割**

進学により転入した学生の多くには **八王子市に住む積極的理由(必然性・愛着)がない**

◎なぜ八王子の学生は愛着を感じにくい？



立地図を比較すると、八王子市にある高等教育機関はキャンパスが市の中心地を離れた「**郊外型キャンパス**」であることが分かる

キャンパス周辺地域から隔絶され、近隣住民との交流もない
また、学生同士の交流の際にも学校周辺に滞留しない

学生がキャンパスの立地する土地に**愛着を持つようになる**とは考えにくい

学生街があるようなキャンパスでは学生と地域住民との有機的関係が形成された結果、学生は地域に対して愛着を持つようになる

八王子市は学生街のような歴史的に形成された社会関係資本が乏しく、それを醸成する場所がないからこそ、郊外型キャンパスならではの社会関係資本の形成を政策的に支援する必要がある

(2) 現行の市施策



学生団体の活動支援

八王子市の魅力や情報の発信、
学生同士や学生と市民の交流を
目的に、学園都市づくりに貢献
する活動を行う学生団体
「八王子学生委員会」の支援



八王子市定住促進 奨学金返還支援事業

条件を設けたうえで、
市が奨学金の返済を
一部支援する制度

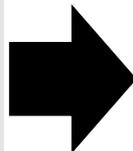


学生向けの プロモーション

市内外の若年層に
向けて、八王子市に
愛着をもって
住んでもらえるような
街づくりを行っている

etc.

八王子市アンケート
や学生の転出数から、
現行の施策の成果
では不十分であると
言える



現行の施策に
加えて、さらに
**学生が市民や
行政と交流する
きっかけが
必要**である

(3) 展望と提案

郊外型キャンパス

周囲から隔離され、すべてが学校の管理下にあるため、
閉塞感に満ちたものになりがちである



学生

本能的に「自由」を求め、
自由な学びの場を求めている

人々が交流するきっかけとなる
「サードプレイス」を求めている



地域の人々



「大学発エクステンションゼミ」

学生が大学での学びで面白いと思ったものを
学外に持ち出し、地域の人に参加してもらう
ことで、学びを新たに展開させる

3者にメリットがある

